

2022年3月29日

東洋インキ SC ホールディングス株式会社

## 第184回定時株主総会の質疑応答要旨について

2022年3月23日（水）第184回定時株主総会を開催し、2名の株主さまから3件のご質問・ご提言をいただき、議長より回答を致しましたので、その要旨をお知らせいたします。

### 記

Q 1	経営方針「重点開発領域の創出と拡大」の注力領域の1つである「ライフ・サイエンス」について、売上高や利益などの計数目標について教えてほしい。また、100年間持続可能な会社を目指す会社として、長期的な目標を説明してほしい。
A 1	「重点開発領域の創出と拡大」では、環境・デジタル・健康（医療）をターゲットに開発・投資を推進し、中期経営計画最終年度である2023年度のライフ・サイエンス分野における売上高目標は75億円としている。（利益は外部公表を差し控える） 2023年度の計数目標は、売上高3,000億円、経常利益220億円を掲げ、ウクライナ問題などで環境が急変しているが、目標値は変えず、目標達成へ邁進している。100年後の数値目標の設定は難しいが、我々の向かうべき方向性や姿勢を明確にするため、For a Vibrant Worldを掲げ、世界に貢献する企業を目指す。
Q 2	2022年為替レート設定と為替変動の利益への影響を説明してほしい。
A 2	2022年予算は2021年9～10月にUSドル115円、ユーロ130円、人民元18円で設定している。為替変動に対しては、常に前提条件等が変わるものとし、それに対する業績対応を行うが、現時点では2022年業績見通しは変更せず、環境変動に対応しながら目標達成を目指す。
Q 3	取締役の主な専門性と経験についてのマトリクスについて、技術・研究開発専門の取締役が少なく、コンプライアンス専門の取締役が多い。バランスをとった方がよいのではないか。
A 3	今回新しいガバナンス体制への移行として、透明性向上や効率化を目的に取締役人数を減らしているが、事業執行を担当する執行役員には技術・研究開発で経験と知見を持った者がいる。執行役員は、事業の最高意思決定機関であるグループ経営執行会議に参加しており、グループ経営執行会議の決議事項は、取締役会に共有されている為、技術・研究開発に関するスキルに関しても問題はないと考える。

以上

### 本件に関するお問い合わせ

東京都中央区京橋二丁目2番1号  
 東洋インキ SC ホールディングス株式会社  
 執行役員 グループ総務部長 加野 雅之  
 TEL: 03-3272-5731